

# 平成27年度国際消防救助隊連携訓練

## 参事官

国際消防救助隊は、海外における大規模災害時に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき被災国政府等からの要請に応じて派遣される国際緊急援助隊救助チームの中核として被災地域で救助活動を実施します。これまで19回の派遣実績があり、直近では平成27年4月のネパール地震災害に派遣されたところです。

国際消防救助隊が海外の被災地で円滑に救助活動を実施するためには、隊員の一人ひとりが、国連を中心として発展している他国救助隊等との連携・調整手法や、気候・地形などの国内とは異なる活動環境下で適切かつ安全に活動するための知識・技術を習得しておく必要があります。

このため、消防庁では、平成24年度から複数の消防本部が合同で実施する国際消防救助隊の連携訓練を推進してきたところであり、今年度は、名古屋市消防局及び福岡市消防局が近隣の消防本部からの参画を得て主催する訓練に対して、消防庁の支援事業として実施しました。

名古屋市の連携訓練では、海外被災地での国際緊急援助（救助）活動に必要な都市型搜索救助技術を必要とす

る複合的な想定訓練が行われ、愛知県警察本部、第三管区海上保安本部からの参加を含み4小隊40名の実施隊員で訓練を行いました。

台風の接近により、開催が危ぶまれましたが、訓練1日目に数時間雨と風が強くなる時間帯があったものの、訓練としては天候の影響はなかったとあってよいほど充実した訓練となりました。

2日目には一転して快晴となり、熱中症が心配なほど気温、湿度が高く過酷な条件下での活動でしたが、医療班の支援を受けながら各想定をクリアし、成果の大きい連携訓練となりました。

### ◎ 名古屋市消防局

- 1 実施日 平成27年9月9日（水）、10日（木）
- 2 実施場所 名古屋市消防学校
- 3 参加隊員 国際消防救助隊員 32名（22消防本部）  
愛知県警察本部 4名  
第三管区海上保安本部 4名  
国際緊急援助隊救助チーム医療班 12名



開会式（名古屋）



参事官視察（名古屋）



想定訓練（名古屋）



集合写真（名古屋）



また、福岡市の連携訓練では、九州地方の全登録隊員に加えて、中国・四国地方から計7小隊編成70名の実施隊員が参加し、「実派遣に向けた知識・技術の伝達」をテーマとして、専門講師からの講義及び国際緊急援助（救助）活動に必要な都市型搜索救助技術を駆使した想定訓練が実施されました。

1日目は、以下のテーマにより3名の講師から、講義をいただき、参加隊員は熱心に聴講しました。

- ・INSARAG新ガイドライン関係、IER受検及びネパール派遣について【国際緊急援助隊救助チーム業務調整員】
- ・CSM（閉鎖空間における医療）について【国際緊急援助隊救助チーム医療班】
- ・構造評価について【国際緊急援助隊救助チーム構造評価専門家】

2日目、3日目には、小隊ごとに想定訓練に臨みました。各隊チームビルディングができた状態で訓練に入れたので、声かけや手技の連携がスムーズでした。どのブースも派遣時の必須手技が含まれており、隊員は真剣に訓練に取り組んでいました。

◎ 福岡市消防局

- 1 実施日 平成27年10月2日（金）から4日（日）
- 2 実施場所 福岡市消防学校
- 3 参加隊員 国際消防救助隊員 70名（20消防本部）  
国際緊急援助隊救助チーム医療班 12名
- 4 講師 国際緊急援助隊救助チーム業務調整員  
国際緊急援助隊救助チーム構造評価専門家  
国際緊急援助隊救助チーム医療班



集合写真（福岡）



想定訓練2（福岡）



想定訓練1（福岡）



想定訓練3（福岡）

今年3月のIER受検でINSARAGの最高評価「HEAVY」再取得後初めてとなる各連携訓練には、IER受検を経験した国際消防救助隊指導員が多数携わっており、国際的な枠組みの中での搜索救助手法をより実戦的に伝達していただけたのではないかと考えております。

今年度、消防庁が支援を行った国際消防救助隊の連携訓練は、以上の2消防本部主催のものですが、この他に

も全国各地で連携訓練は開催されております。国際消防救助隊の海外での災害対応能力の向上のため、連携訓練の継続をお願いいたします。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部 参事官付  
TEL: 03-5253-7507